

2024年1月9日

報道関係各位

株式会社エンビプロ・ホールディングス
(コード番号：5698 東証プライム)

松本市リサイクル施設に新設備を導入。処理能力従来比1.7倍となり省エネ、省人化にも寄与
～長野県唯一の大型シュレッダーを活用し地域にサーキュラーエコノミーで貢献～

この度、当社連結子会社である株式会社しんえこ（本社：長野県松本市、以下「しんえこ」）は、本社工場においてプレシュレッダーを導入し稼働開始しました。前処理工程の効率化により破碎業務の処理能力が従来比の1.7倍となり、今後は品目の拡大も見込まれます。

今回導入した設備は富士車両株式会社製の400馬力プレシュレッダーです。

プレシュレッダーの導入により、前処理工程の効率化を実現し、シュレッダー本体の時間当たり破碎処理能力は従来比で1.7倍の30tとなりました。



長野県では現在、しんえこ保有の1機のみ大型シュレッダーが稼働している状況で、多くの産業廃棄物は県外に運搬され、処理されています。しんえこの大型シュレッダーの処理能力の向上は県外に持ち出される廃棄物量を削減し、地域内での再資源化に寄与します。

エンビプログループでは、新たな戦略コンセプトとして「サーキュラーエコノミーをリードする」を掲げています。これからも地域発生資源をより多く回収し、グリーンマテリアルの生産をすることで地域・モノづくりを支えるサーキュラーエコノミーの輪を拡げてまいります。

■ 設備概要

名称	プレシュレッダー
標準形式	FHPS-230-400
製造	富士車両株式会社
設置場所	株式会社しんえこ 本社工場

以上

-----<本件に関するお問い合わせ>-----

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営管理部 広報担当 渡邊千佳

TEL：0544-21-3161 Mail：ir@envipro.jp HP：<https://www.envipro.jp/>

■ プレシュレッダー導入効果

- ・しんえこ本社工場のスクラップ破碎能力従来比 1.7 倍
- ・シュレッダー処理効率の向上およびシュレッダー本体の負荷低減
- ・取扱品目の拡大
- ・電力デマンドのピークカット、重機の燃料削減による省エネ
- ・付加価値が高い業務への人材の再配置
- ・電化による CO₂排出量削減効果（しんえこ全体の Scope 1 から 5.2%削減見込み）

■ 会社概要

SYNECO
Good Recycling

(1) 名称	株式会社しんえこ
(2) 所在地	〒390-0852 長野県松本市大字島立 2346 番地
(3) 代表者	代表取締役社長 小松茂人
(4) 事業内容	鉄・非鉄金属リサイクル 廃プラスチックリサイクル 小型家電リサイクル 廃OA・事務機器リサイクル 廃自動車リサイクル 古紙リサイクル
(5) 資本金	1億円
(6) 設立	2002年2月
(7) 株主	株式会社エンビプロ・ホールディングス 100%
(8) URL	https://syneco.co.jp/

戦略 CONCEPT

サーキュラーエコノミーをリードする

「モノづくりを支えるCE」と「地域を支えるCE」の具体的な事例を他社に先駆けて数多く実現する。
 当社が先導して日本全体にサーキュラーエコノミーの機運を高め、持続可能社会実現の一翼を担っていく。

